

## 2018年9月23～24日

世論調査（読売、日経）、沖縄県知事選（共同、沖縄タイムス情勢調査含む）、自衛隊・軍備、南北・米朝・日米、政局

### 安倍内閣の支持率、横ばい50%...読売世論調査

読売新聞 2018年09月23日 22時00分

読売新聞社は21～23日、全国世論調査を実施した。安倍内閣の支持率は50%で、前回8月24～26日調査の50%から横ばいだった。不支持率は41%（前回40%）。

政党支持率は、自民党が40%（前回40%）、立憲民主党が6%（同4%）などの順。無党派層は45%（同45%）だった。

### 安倍総裁3選「よかった」46%...読売世論調査

読売新聞 2018年09月23日 22時00分

読売新聞社が21～23日に実施した全国世論調査で、安倍首相が自民党総裁選で連続3選を果たしたことを「よかった」と思う人は46%で、「よくなかった」41%と意見が分かれた。

総裁選の得票が、安倍首相553票、石破茂・元幹事長254票だったことについては、「石破さんがもっと多い方がよかった」49%、「ちょうどよい」39%、「安倍さんがもっと多い方がよかった」6%だった。

### 内閣支持率、7ポイント増の55% 本社世論調査

日経新聞 2018/9/23 18:00

日本経済新聞社とテレビ東京による21～23日の世論調査で、安倍内閣の支持率は55%となり、前回の8月下旬の48%から7ポイント上昇した。不支持率は42%から39%に下がった。支持率が55%以上になるのは、財務省の決裁文書改ざんが発覚する前の2月（56%）以来。



20日投開票の自民党総裁選で安倍晋三首相が3選した結果については「よかった」が55%、「よくなかった」が38%だった。

首相に期待する政策（複数回答）はトップが「社会保障の充実」で49%。「景気回復」45%、「教育の充実」31%、「外交・安全保障」30%と続き、首相が意欲を示す「憲法改正」は13%だった。

公的年金の受給開始を70歳より後にずらすと毎月の受

給額が今より増える制度を政府が検討していることについては反対57%、賛成33%だった。

政党支持率は自民党が48%で、前回の45%から3ポイント上昇した。特定の支持政党を持たない無党派層は32%だった。

調査は日経リサーチが21～23日に全国の18歳以上の男女に携帯電話も含めて乱数番号（RDD方式）による電話で実施。973件の回答を得た。回答率は46.4%。あなたは安倍内閣を支持しますか、しませんか。

### トランプ氏要求「応える必要なし」76%、貿易黒字削減 本社世論調査

2018/9/23 20:00 情報元日本経済新聞 電子版

日本経済新聞社の世論調査で、日本に貿易黒字の削減を求めるトランプ米大統領の要求について「応える必要はない」が76%だった。「応えるべきだ」は12%にとどまった。

「応える必要はない」は内閣支持層で73%、不支持層では82%に達し、ともに「応えるべきだ」を大きく上回った。

政府が企業に原則65歳まで働けるよう義務付けている年齢を、さらに引き上げることについて賛成が57%で、反対の36%を上回った。男…

### 日ロ平和条約締結 「領土問題の解決後に」66% 本社世論調査

2018/9/23 20:00 情報元日本経済新聞 電子版

フォーラムの終わり

日本経済新聞社の世論調査で、日本とロシアの平和条約締結について聞いたところ「領土問題を解決したあとに、平和条約を締結するべきだ」が66%だった。「年末までに平和条約を締結し、その後に領土問題に取り組むべきだ」の19%を大きく上回った。「平和条約を結ぶ必要はない」は6%にとどまった。

日ロ平和条約を巡っては、ロシアのプーチン…

### 日経新聞9月世論調査詳報

( ) 内8月調査・比較可能項目結果

内閣支持率	
55% (48)	支持する
39% (42)	支持しない
5% (10)	いえない・わからない

政党支持率	支持または好意を持っている政党
48% (45)	自民党
6% (10)	立憲民主党
1% (1)	国民民主党
4% (3)	公明党

- 3% (3) 共産党
- 1% (1) 日本維新の会
- 1% (1) 社民党
- 32% (33) 支持(好意)政党なし
- 4% (3) いえない・わからない

安倍首相が3選し首相を続けることについて  
自民党総裁選で安倍首相が3選し、首相を続けることになりました。あなたはこの結果をどう思いますか。

- 55% よかった
- 38% よくなかった
- 5% どちらともいえない
- 2% いえない・わからない

安倍首相に期待する政策について  
安倍首相にどのような政策を期待しますか。次の7個からいくつでもお答え下さい。

- 45% (40) 景気回復
- 29% (31) 財政再建
- 49% (46) 社会保障の充実
- 31% (31) 教育の充実
- 30% (33) 外交・安全保障
- 13% (9) 憲法改正
- 15% (21) 政治・行政改革
- 0% (1) その他
- 6% (5) いえない・わからない

安倍首相への信頼について  
あなたは安倍首相をどの程度信頼できますか。

- 9% 大いに信頼できる
- 48% ある程度信頼できる
- 28% あまり信頼できない
- 13% まったく信頼できない
- 0% その他
- 2% いえない・わからない
- 57% 信頼できる合計
- 41% 信頼できない合計

消費税率10%引き上げについて  
安倍首相は2019年10月に消費税率を10%に引き上げる考えです。あなたはこれについて賛成ですか、反対ですか。

- 47% 賛成だ
- 48% 反対だ
- 4% どちらともいえない
- 1% いえない・わからない

継続雇用年齢を65歳よりも引き上げることについて  
政府は企業に原則65歳まで働けるよう義務付けています。

この年齢をさらに引き上げることに賛成ですか、反対ですか。

- 57% 賛成だ
- 36% 反対だ
- 6% どちらともいえない
- 2% いえない・わからない

公的年金の受給開始年齢により増額される制度について  
政府は公的年金について、受給開始を70歳より遅らせると毎月の受給額が今よりも増える制度を検討しています。あなたはこの制度に賛成ですか、反対ですか。

- 33% 賛成だ
- 57% 反対だ
- 6% どちらともいえない
- 4% いえない・わからない

対米貿易黒字の削減について  
政府はアメリカのトランプ大統領から、貿易黒字の削減を求められています。あなたはトランプ氏の要求についてどう思いますか。

- 12% 要求に応えるべきだ
- 76% 要求に応える必要はない
- 3% どちらともいえない
- 8% いえない・わからない

自民党の憲法改正案について  
安倍首相は自民党の憲法改正案を秋の臨時国会に提出する考えを示しました。あなたは自民党の憲法改正案を秋の臨時国会に提出すべきだと思いますか、思いませんか。

- 24% (17) 秋の臨時国会に提出すべきだ
- 68% (73) 提出を急ぐべきではない
- 3% (2) どちらともいえない
- 6% (7) いえない・わからない

日ロ平和条約の締結について  
ロシアのプーチン大統領が、2018年末までに日ロ平和条約を締結するよう提案しました。あなたはこれについてどう思いますか。

- 19% 平和条約を締結し領土問題に取り組むべきだ
  - 66% 領土問題解決後、平和条約を締結するべきだ
  - 6% 平和条約を結ぶ必要はない
  - 10% いえない・わからない
- 2018年09月 回答者数 973人

玉城、佐喜真両氏が互角 沖縄県知事選情勢  
共同通信 2018/9/23 19:16



沖縄県知事選で互角に競り合う佐喜真淳氏（右）と玉城デニー氏＝23日、沖縄県宜野湾市

共同通信社は22、23両日、翁長雄志知事の死去に伴う沖縄県知事選（30日投開票）で電話世論調査を実施し、取材結果を加味して情勢を探った。いずれも無所属新人の前衆院議員玉城デニー氏（58）と、前宜野湾市長佐喜真淳氏（54）＝自民、公明、維新、希望推薦＝が互角のまま激しく競り合う展開となっている。

ただ、2割が投票先を「まだ決めていない」としており、情勢は変動する可能性がある。

玉城氏は、共産党や社民党の支持層をほぼ固めきったほか、地域政党の沖縄社会大衆党の8割を固めた。

佐喜真氏は自民党支持層の7割超を固めた。渡口初美氏（83）と兼島俊氏（40）は厳しい。

## 玉城氏リード、佐喜真氏が激しく追う 沖縄知事選・情勢調査

沖縄タイムス 2018年9月23日 23:52

沖縄タイムス社は22、23の両日、朝日新聞社、琉球朝日放送（QAB）と合同で30日投開票の知事選に関する電話調査を実施し、取材で得た情報を加味して情勢を探った。「オール沖縄」勢力が推す前衆院議員の玉城デニー氏（58）がリードし、前宜野湾市長の佐喜真淳氏（54）＝自民、公明、維新、希望推薦＝が激しく追っている。ほかの2人は厳しい戦い。ただ、有権者の3割が投票態度を明らかにしておらず、情勢は変わる可能性がある。



沖縄県知事選挙に立候補している（左から）佐喜真氏と玉城氏

情勢調査と同時に実施した世論調査で、知事選で何を一番重視して投票するかを尋ねたところ「基地問題」が42%で最も高く、「経済の活性化」35%、「人柄や経歴」11%、「支援する政党や団体」6%だった。

投票態度を明らかにした人で見ると、「基地問題」と答えた人の8割が玉城氏を支持し、「経済の活性化」を選んだ人

の7割が佐喜真氏を支持する傾向がみられた。

米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設には「反対」が50%、「賛成」は25%だった。

安倍内閣の沖縄の基地問題の姿勢への評価は「評価しない」が63%で、「評価する」は14%にとどまった。

「評価しない」と答えた人の大半は玉城氏、「評価する」と答えた人の大半は佐喜真氏を支持している。

支持政党別では、玉城氏は立憲民主、共産、社民支持層の大半を固め、自民支持層の2割を取り込む。佐喜真氏は自民支持層の7割強をまとめ、公明、維新支持層の大方を固めつつある。無党派層では玉城氏が7割程度に浸透している。

男女別では、男性はほぼ分け合っているが、女性の支持は玉城氏が多くを占めている。世代別で見ると、全世代で玉城氏の支持が多い。

知事選にどの程度関心があるか尋ねたところ、「大いに関心がある」が58%、「少しは関心がある」35%、「関心はない」7%で、知事選への有権者の関心の高さがうかがえる。

### 【調査方法】

コンピューターで無作為に作成した固定電話番号に調査員が電話をかけるRDD方式で、沖縄県内の有権者を対象に調査した。有権者がいる世帯と判明した番号は2118件、有効回答は915人。回答率は43%。

## 佐喜真、玉城氏が訴え＝沖縄知事選、最後の日曜



沖縄県知事選で最後の日曜を迎え、街頭で支援を訴える前宜野湾市長の佐喜真淳氏＝23日午後、同県浦添市

米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古移設が争点の同県知事選は、投開票（30日）に向け最後の日曜を迎えた。自民、公明両党などが推す佐喜真淳前宜野湾市長と、移設反対を掲げる玉城デニー前衆院議員は23日、それぞれ有権者への訴えを強めた。

佐喜真氏の陣営では、先週末に続き自民党の小泉進次郎筆頭副幹事長が応援に入り、大票田の那覇市で演説。「相手も本気だ。こちらもさらに一段ギアを上げよう」と支持を呼び掛けた。並んで立った佐喜真氏も、日米地位協定の改定や県民所得の向上、プロ野球の球団設立などを次々と公約し、「対立ではなく対話だ」と声をからした。



沖縄県知事選で最後の日曜日を迎え、宜野湾市長選と共に支援を訴える前衆院議員の玉城デニー氏＝23日午前、同県宜野湾市

玉城氏は、那覇市内で若者らのイベントで演説。「沖縄の将来に負担になる辺野古の新基地は絶対に造らせたくない」と力を込めた。故翁長雄志知事の次男で那覇市議の雄治氏も「若い人たちの未来にはデニーが必要だ」と訴えた。これに先立ち、玉城氏は23日に告示された宜野湾市長選で、辺野古移設に反対する候補の応援に駆け付けた。

知事選には、元那覇市議の渡口初美氏、元会社員の兼島俊氏も立候補している。(時事通信 2018/09/23-19:12)

**沖縄知事選、投開票まで1週間 両陣営、対照的な戦い**  
朝日新聞デジタル山下龍一、伊藤和行 2018年9月23日 19時24分



候補者の訴えに

耳を傾ける有権者＝2018年9月23日午後5時52分、那覇市安里2丁目、日吉健吾撮影(画像の一部にモザイクをかけています)

米軍普天間飛行場の名護市辺野古への移設の是非が問われる沖縄県知事選の投開票まで、23日であと1週間に迫った。安倍政権の支援を受ける佐喜真(さきま)淳氏(54)と、翁長雄志(おながたけし)知事の後継の玉城デニー氏(58)の陣営は舌戦を繰り広げた。戦いぶりは対照的だ。

「沖縄のみなさん、こんにちは。来るのは1週間ぶりです」。23日、那覇市の県庁前。自民党の小泉進次郎・筆頭副幹事長が佐喜真氏の隣でマイクを握ると、笑いが起きた。知名度抜群の小泉氏が、地方選の応援にこれほど頻繁に入るのは異例だ。

陣営の戦術は、安倍政権や推薦を受ける自民、公明などの幹部らが次々と街頭に立つ「有名人作戦」だ。菅義偉官

房長官は告示後だけで2度沖縄入りして応援演説。元沖縄担当相の小池百合子都知事も22～23日、県内を遊説した。陣営関係者は、佐喜真氏と並んで立つことで「生活支援や振興策といった政策に説得力を持たせられる」と語る。

対する玉城氏の陣営は、党派色を消す作戦を徹底する。県外の野党国会議員と玉城氏はほとんど街頭で並ばず、集会では労組ののぼりや「安倍政権打倒」などと書かれた旗を下ろしてもらった場面も目立つ。

狙いは、革新色を抑え、辺野古移設への反発を党派を超えて結集することだ。玉城氏は23日の那覇市でのイベントで、政党名には触れなかった。22日の集会では翁長氏の妻樹子(みきこ)さん(62)が「ウチナーンチュ(沖縄の人)の心をすべてさらけ出して、勝利を勝ち取りましょう」と訴えた。陣営関係者は「沖縄のアイデンティティを掘り起こす」と話す。(山下龍一、伊藤和行)

産経新聞 2018.9.23 21:06 更新

**進次郎氏、沖縄県知事選応援を徹底 総裁選後の「すきま風」横に自民執行部も人気活用**



沖縄県知事選で、与党系候補の応援演説をする自民党の小泉進次郎筆頭副幹事長＝23日午後4時47分ごろ、沖縄県沖繩市(大島悠亮撮影)

自民党の小泉進次郎筆頭副幹事長が23日、沖縄県知事選で与党系候補をこ入れするため、大票田の那覇市など3カ所で街頭演説を行った。党総裁選で石破茂元幹事長に投票し、連続3選した安倍晋三首相らとの間にすきま風も吹くが、知事選は党務と割り切り、政権の悲願である県政奪還に向け尽力する。多くが首相を支持した党執行部も小泉氏の知名度を生かし、街頭演説などでの“空中戦”で勝ち抜こうとしている。

「沖縄の皆さん、1週間ぶりです。選挙もあと1週間後。相手も本気です。こちらも一段ギアを上げようじゃありませんか！」

小泉氏が県庁前でこう熱く訴えると、大勢の聴衆から大きな拍手が起きた。小泉氏の沖縄入りは16日に続き告示後2回目。「筆頭副幹事長」という党幹部の立場だが、接戦だった6月の新潟県知事選では応援に入らなかった。沖縄県知事選は石破氏を支持した直後で去就が目されたが、党が用意した応援予定を淡々とこなしている。

党幹部は「那覇市などの空中戦が弱い」と分析しており、小泉氏と一定の距離感を保ちながら、人気を最大限に利用する考えだ。

## 公選法違反、指摘相次ぐ＝警告62件、ネットで告発もー 沖縄知事選

沖縄県知事選（30日投開票）で、有力候補の支援者による選挙活動が激しさを増している。県警は20日までに、ポスターやのぼりなど公選法に違反する掲示物62件について警告。インターネット上では「告発合戦」も相次ぐ。

沖縄本島の中部にある県立高校では19日、校門脇に立つビルの外壁に「卒業生〇〇を県知事へ！」などと書かれた約10メートルの懸垂幕2本が掲げられた。卒業生の支援者有志の名前もあり、高校の要請で幕は21日までに取り外された。男性教頭は「学校が特定の候補者を支援しているように見え、保護者らから約20件の苦情が寄せられた」と苦い顔だ。

公選法は、選挙ポスターなどを除く掲示物で特定の候補者名を類推させる記載をすることを禁じている。外壁を管理する会社は取材に対し、「何が違反に当たるか確認できていなかった」と語った。

一方の相手候補。公選法で認められた掲示場所ではない県庁内の労働組合の掲示板に、選挙ポスターが張られていたことが20日に判明。同日中に撤去された。県によると、ポスターは組合が雇用した事務員が掲示したといい、「庁舎管理を徹底していく」と文書で謝罪した。

ネット上では、候補者名が書かれたポスターが電柱に掲示されているなどの指摘が、写真付きで流布。ネガティブキャンペーンも少なくない。県警は「立候補関係者は関係法令を順守した選挙運動を行ってほしい」と呼び掛けている。（時事通信 2018/09/23-14:50）

産経新聞 2018.9.23 18:30 更新

### 【沖縄の選択】（上）勝負のカギ握るポスト「安室世代」 「差別」意識よりも現実政策



安室奈美恵の曲に合わせ

花火大会が行われた＝16日午後、沖縄県宜野湾市（川口良介撮影）

沖縄県知事選が告示されて2日後の15日、宜野湾（ぎのわん）市のコンベンションセンターで歌手、安室奈美恵さんのラストコンサートが開かれた。ゲスト出演した沖縄出身バンドBEG INのボーカル、比嘉栄昇（えいしょう）さんは、翌日に40歳で引退する安室さんを称賛した。

「時代が変わっていく様を見られて本当に幸せな時代に生きている。奈美恵ちゃん、感謝しています」

50歳の比嘉さんは、自身が約30年前に上京した当時

を「まだ沖縄がアメリカと思っている人がたくさんいた」と振り返る。日雇い労働に行けば外国人の列に並ばされ、中国人やイラン人と仲良くなったという。バンドを始めたきっかけも「沖縄が日本なんだというのを知ってもらうために歌うのもありなんじゃないか」と思ったからだった。ウチナンチュの心

比嘉さんの体験は、昭和53年から平成2年まで県政トップを務めた西銘（にしめ）順治元知事の「ヤマトンチュになりたくて、なりきれない心」に通底する。米軍普天間飛行場（宜野湾市）の名護市辺野古移設に反対した翁長雄志（おなが・たけし）知事も、基地が沖縄県に集中する現状を「差別」と指弾し、「イデオロギーよりアイデンティティ」をスローガンに幅広い支持獲得に成功した。

記録的なヒットを飛ばし社会現象も起こした安室さんが、沖縄に対する偏見や差別を解消した一。そんな比嘉さんの評価を共有する40～50代の安室ファンはいる。

とはいえ、安室さんのコンサートや展覧会に集まった20～30歳代のファンに沖縄差別と安室さんの関係について質問すると、ほとんどが不思議そうな顔をした。読谷（よみたん）村の会社員、喜名（きな）千咲さん（30）は「差別の話は聞いたことがあるけど物心ついたときには安室ちゃんがいなかった。時代が変わった後だった」と語った。

「差別」に違和感

ポスト「安室世代」は、沖縄政治の構造を変えつつあるように見える。2月の名護市長選で、辺野古移設を事実上容認する候補が勝利したのは、若者世代が給食費無料化など生活を重視する政策を支持したからだ、というのが自民党県連の見方だ。

今月18日夜、沖縄県知事選に立候補した佐喜真淳（さきま・あつし）前宜野湾市長の集会在那覇市内で開かれた。青年代表として壇上に立った会社役員、平良貴さん（41）は「僕が中学進学で上京したときには安室がいて、沖縄いいねという人間しか周りにいなかった」と語った。その上で「沖縄差別という雰囲気はここ数年、ずっと耳にしてきた。強烈な違和感しか残らなかった」と強調した。

若者・子育て世代の票が勝利のカギを握ると見る佐喜真氏は給食費、医療費、保育料を「無償化3点セット」と位置づけて支持拡大を図る。那覇市中心部の繁華街で演説した際は「プロ野球球団、あったほうがいいですか？ 私はスポーツ王国・沖縄をつくりたい」とぶち上げた。

佐喜真陣営は、若者に人気がある自民党の小泉進次郎筆頭副幹事長を2回にわたり沖縄入りさせた。16日には、地元2紙に「小泉進次郎沖縄へ！」と告知する全面広告を掲載した。

■「デニってるかい？」

翁長氏の後継候補、玉城（たまき）デニー前衆院議員も、若者票取り込みに余念がない。

玉城氏を支援する政党がSNS（ソーシャル・ネットワ

ーキング・サービス) 対策のプロ5人を派遣し、インターネット上のメッセージ拡散に当たっている。玉城氏自身も集会や討論会で踊り、大学生に「いっぱいロックンロールしてください」と呼びかける。玉城氏に近い県議は「あまりにも軽すぎる。緩んでいると思われる」と顔をしかめるが、玉城氏が意に介する様子はない。

「デニってる? デニってるかーい? デニってるうー!」

21日夜に那覇市内のライブハウスで開かれた集会では、翁長氏の次男の雄治(たけはる)那覇市議(31)が、マイクパフォーマンスで聴衆を盛り上げた。登場した玉城氏も「デニってる?」と応じた。質問に応じる形で説明した政策は観光と農業、中高生のバス通学費無料化、離島振興。玉城氏が自由に語っていい場面でも、なぜ辺野古移設に反対するのかは話さなかった。(杉本康士)

◇

30日投開票の沖縄県知事選は、自民、公明、日本維新の会などが推薦する佐喜真氏と、共産党や社民党、労組などでつくる「オール沖縄」が推す玉城氏の事実上の一騎打ちとなった。普天間飛行場の名護市辺野古移設を左右する選挙戦の構図を追う。

### 宜野湾市長選に新人2氏＝辺野古移設も争点に一沖縄

米軍普天間飛行場を抱える沖縄県宜野湾市の市長選が23日告示され、いずれも無所属新人で県高校PTA連合会前会長の仲西春雅氏(57)＝立憲民主、国民民主、共産、自由、社民推薦＝と、前副市長の松川正則氏(65)＝自民、公明、維新推薦＝の2人が立候補を届け出た。同県知事選に出馬した佐喜真淳前市長の辞職に伴う選挙で、知事選と同じ30日に投開票される。普天間飛行場の名護市辺野古移設の是非も争点となる。

仲西氏は移設阻止を掲げる「オール沖縄」勢力の支援を受ける。23日の第一声で「翁長雄志知事の遺志をしっかりと引き継ぎ、(知事選の)玉城デニー候補とともに頑張っていきたい」と表明。「辺野古新基地は反対だ」とも語った。

松川氏は佐喜真氏の後継で、市政の継承を掲げる。同日の出陣式では「佐喜真淳県知事誕生によって、コンビで普天間飛行場の課題を解決する」と訴え、早期運用停止や危険性除去に努める姿勢を強調。ただ、辺野古には触れなかった。(時事通信 2018/09/23-17:43)

### 沖縄・宜野湾市長選が告示 辺野古争点に2氏届け出

共同通信 2018/9/23 17:27

前市長の沖縄県知事選立候補に伴う宜野湾市長選が23日告示され、県高校PTA連合会前会長仲西春雅氏(57)＝立民、国民、共産、社民、自由、沖縄社大推薦＝と、前副市長松川正則氏(65)＝自民、公明、維新推薦＝の2氏が届け出た。市中心部にある米軍普天間飛行場の名護市辺

野古移設が争点となる。投開票は知事選と同じ30日。

両氏はともに普天間飛行場の早期閉鎖、返還を訴えている。仲西氏は名護市辺野古移設に反対の立場で、松川氏は是非について言及していない。

### 沖縄・宜野湾市長選が告示 辺野古争点、2氏が届け出

朝日新聞デジタル 2018年9月23日 18時01分

沖縄県宜野湾市長選が23日告示され、いずれも無所属新顔で、元県高校PTA連合会長の仲西春雅(はるまさ)氏(57)と前副市長の松川(まつがわ)正則氏(65)が届け出た。米軍普天間飛行場の名護市辺野古への移設計画の是非が争点で、県知事選と同じく30日に投開票される。

市長だった佐喜真淳(さきまあつし)氏(54)が県知事選立候補のために辞職したことに伴うもの。22日現在の有権者数は7万6610人。

仲西氏は「オール沖縄」勢力の支援を受け、立憲民主、国民民主、共産、社民、自由、沖縄社会大衆の各党が推薦する。松川氏は佐喜真氏の後継として立候補。安倍政権が推し、自民、公明、日本維新の会の推薦を受ける。

両候補とも普天間飛行場について「一日も早い閉鎖、返還」を訴える。辺野古移設に関しては、仲西氏が「名護市民に同様の負担を強いる県内移設に反対」と強調。松川氏は賛否を示さず「基地負担軽減の取り組みを推進する」と主張する。

両候補とも知事選候補者との「セット戦術」を展開。仲西氏は玉城(たまき)デニー氏(58)とともに「翁長雄志(おながたけし)知事の遺志を継承する」と訴え、松川氏は佐喜真氏と「市政の継承を」と呼びかけている。

### 宜野湾市長選 仲西氏、松川氏の一騎打ちが確定 普天間移設問題が最大争点

琉球新報 2018年9月23日 17:45



第一声を発する(左から)仲西春雅氏と松川正則氏



出発式で第一声を発する仲西春雅氏＝23日午前、宜野湾市上原

米軍普天間飛行場の問題が最大争点となる宜野湾市長選は23日告示され、無所属新人で県高校PTA連合会前会長の仲西春雅氏（57）＝社民、共産、社大、自由、国民民主、立民推薦＝と無所属新人で前宜野湾市副市長の松川正則氏（65）＝自民、公明、維新推薦＝の一騎打ちが確定した。

宜野湾市長選は佐喜真淳前市長が県知事選に立候補するため、辞職したことに伴うもので、1週間の選挙戦がスタートする。30日に投票、即日開票される。

仲西氏は市上原の沖縄海邦銀行普天間支店前で出発式を開き「翁長知事の遺志を継ぎ、玉城デニー県知事候補と共に市民のために頑張る。立場を越えて普天間の即時閉鎖撤去を強く求めよう」と呼び掛けた。



出陣式で第一声を発する松川正則氏＝23日午前、宜野湾市普天間

松川氏は市普天間の普天間りうぼう前で出陣式を開き「佐喜真淳市政の6年半で市民生活は大きく変わった。この流れを止めてはいけない。『宜野湾が1番』を継承発展できるのは私しかいない」と力を込めた。

普天間飛行場の移設工事に伴い、2017年4月に名護市辺野古の大浦湾で護岸工事が着手されてから初めての市長選。さらに辺野古移設の是非が最大争点の県知事選と同日選となるため、今後の沖縄の基地問題を占う上で大きな注目を集める。基地の跡地利用や子育て、教育、市街地活性化策なども主な争点となる。

22日現在の選挙人名簿登録者数は7万6610人（男性3万6727人、女性3万9883人）。（宜野湾市長選取材班）【琉球新報電子版】

## 宜野湾市長選・有権者の声 基地や福祉に要望

琉球新報 2018年9月23日 13:34



宜野湾市長選の大きな争点となる米軍普天間飛行場＝22日、宜野湾市

宜野湾市長選が23日、告示される。告示日前日の22日、記者が市内を歩くと、有権者からは次期市長に対し、米軍普天間飛行場の早期撤去を望む声のほか、経済活性化や子育て環境の整備に期待を寄せる声が多く聞かれた。

市立図書館を訪れた女性（74）は「普天間飛行場を早期に撤去してほしい。なくなるまで選挙の争点になる」と語る。自宅付近を米軍機が低空飛行すると、テレビ画面が乱れる。空を見上げれば、搭乗している米兵の顔が見えることもある。だが「辺野古に移ったら、辺野古の人たちが大変だ」と県内移設に反対する。

高良謙二さん（64）＝宇地泊＝は「最近、MV22オスプレイの騒音がひどい。米軍による事故や事件の危険性もある。一日も早く普天間飛行場を閉鎖してほしい」と強く訴える。民生委員として活動する。「障がいがある人たちの雇用拡充など、福祉の充実を目指してほしい」と要望した。

市宜野湾で自営業を営む池原利枝子さん（46）は「宜野湾は観光にもっと力を入れるべきだ」と強調する。「市中心部にも観光客が足を運ぶような魅力を引き出し、市全体で経済を活性化してほしい」と注文した。

公園で子どもと遊んでいた島袋盛人さん（36）は「子どもが朝夕に渋滞が激しい長田交差点を通るので心配だ。我如古交差点のように渋滞緩和の政策を実施し、通学路の安全を確保してほしい」と切望した。

（宜野湾市長選取材班）

## 陸自、オスプレイ納入延期 12月以降、施設間に合わず

陸上自衛隊が南西諸島防衛強化のため導入する輸送機V22オスプレイを巡り、今年秋としていた米国から日本への納入時期が12月下旬以降に延期される見通しとなった。配備先の佐賀空港（佐賀市）の施設整備が間に合わず、暫定配備を検討している陸自木更津駐屯地（千葉県木更津市）でも地元の同意が得られていないことが主な理由。防衛省関係者が23日、明らかにした。

関係者によると、少なくとも1～2カ月は遅らせる見通し。その間は米国内に留め置く考えだ。

小野寺五典防衛相は23日、視察先の北海道根室市で記者団に「いつ納入されるか、米側から私どもに報告が来っていない」と述べた。

## 陸自オスプレイの米国からの納入、秋予定からずれ込みも

朝日新聞デジタル 藤原慎一 2018年9月23日 23時43分

小野寺五典防衛相は23日、陸上自衛隊が導入する輸送機オスプレイの米国からの納入時期について、「具体的にいつ引き渡されるか、まだ決まっていない」と述べ、今秋予定からずれ込む可能性に言及した。部隊視察先の北海道根

室市で記者団に語った。

防衛省は陸自オスプレイを今年度から2021年度までに米国から17機導入し、佐賀空港（佐賀市）に配備を計画。今秋には先行して5機を導入する予定だった。佐賀県の山口祥義知事は8月に配備受け入れを表明したが、地元漁協には反対が根強く、用地確保を含む空港の施設整備は遅れている。

佐賀県の受け入れが難航したことで、防衛省は米軍オスプレイの定期整備拠点がある陸自木更津駐屯地（千葉県木更津市）への暫定配備を検討。ところが佐賀配備に向けた政治状況の変化も影響して、地元調整に一定の時間がかかるとの見通しだ。納入時期がいつになるかについて、小野寺氏は「佐賀の施設が完成するまでどのような形で置くかは決まっていな。配備するために様々な検討を行っていく」と述べるにとどめた。（藤原慎一）

### 防衛省 オスプレイの納入を当面延期 配備計画進まず

毎日新聞 2018年9月23日 19時27分(最終更新 9月23日 19時27分)

防衛省は、今秋に予定していた陸上自衛隊の垂直離着陸輸送機オスプレイの米国からの納入を当面延期する。佐賀空港（佐賀市）への配備計画が進んでいないため、陸自木更津駐屯地（千葉県木更津市）に暫定配備する方針だが、地元との調整が間に合わないと判断した。同省は年度内の納入を目指して千葉県や木更津市と協議を続ける。

防衛省は春以降、木更津駐屯地への暫定配備に向けて関係自治体と水面下で折衝してきた。地元は安全性に加え、木更津への配備が恒久化することを懸念。同省は、佐賀県の山口祥義（よしのり）知事が8月に配備受け入れを表明したことなどを挙げて説得しているが、納入予定の11月までに理解を得るのは難しい状況だ。

木更津駐屯地には在沖繩米軍のオスプレイの整備拠点があり、最初の整備機の最終点検が間もなく完了する見込み。防衛省は米軍機の整備が無事に終わることを前提に、地元との調整を本格化させる。

陸自はオスプレイ17機を導入し、佐賀空港の隣接地に駐機場などを整備する方針だ。オスプレイは今年3月に陸自相浦駐屯地（長崎県佐世保市）に新設された「水陸機動団」を輸送する役割を担い、今年度は最初の5機が納入される。

ただ、佐賀空港を自衛隊と共用するために必要な公害防止協定の見直しを巡って、佐賀県と地権者の地元漁協との交渉はノリ漁が終わる来年春以降に持ち越される。土地買収交渉も手つかずで、佐賀配備は早くても数年後になる見通しだ。【秋山信一】

陸自、オスプレイ納入延期 12月以降、施設間に合わず  
琉球新報 2018年9月23日 19:05

陸上自衛隊が南西諸島防衛強化のため導入する輸送機V22オスプレイを巡り、今年秋としていた米国から日本への納入時期が12月下旬以降に延期される見通しとなった。配備先の佐賀空港（佐賀市）の施設整備が間に合わず、暫定配備を検討している陸自木更津駐屯地（千葉県木更津市）でも地元の同意が得られていないことが主な理由。防衛省関係者が23日、明らかにした。

関係者によると、少なくとも1～2カ月は遅らせる見通し。その間は米国内に留め置く考えだ。

小野寺五典防衛相は23日、視察先の北海道根室市で記者団に「いつ納入されるか、米側から私どもに報告が来ない」と述べた。

JNN9月23日15時14分

### 陸自オスプレイ、今秋の納入を延期する方針固める

陸上自衛隊が導入する輸送機オスプレイについて、防衛省は今年の秋に予定していたアメリカからの納入を延期する方針を固めました。

配備が計画されている佐賀空港は、佐賀県と着陸料では合意したものの地元漁協との交渉が進んでおらず、施設整備が終わるのは数年先になるとみられています。

オスプレイは、今年秋に第一弾として5機がアメリカから納入される予定になっていました。

### ロシア警戒、大綱に反映 防衛相が根室基地視察

日経新聞 2018/9/23 14:18

小野寺五典防衛相は23日、レーダーでロシア軍機などの警戒監視に当たる航空自衛隊根室分屯基地（北海道根室市）を視察した。「ロシア軍の活動が活発化している。ロシアへの警戒は重要な役目であり、視察内容を防衛計画の大綱、中期防衛力整備計画（中期防）にも反映したい」と記者団に述べた。

ロシア軍は今月、極東やシベリアで冷戦後最大規模の軍事演習「ボストーク（東方）2018」を実施。ロシア軍機の日本周辺での飛行も頻繁に確認されている。防衛大綱と中期防は年末の取りまとめを予定する。

小野寺氏は、陸上自衛隊が導入する輸送機V22オスプレイの米国から日本への納入時期に関し「具体的にいつ納入されるか、米側から私どもに報告が来ない」と述べた。防衛省はこれまで、納入時期は今年秋以降と説明している。

〔共同〕

産経新聞 2018.9.23 21:15 更新

### 「小池新党」結成から25日で1年…野党、なお混迷抜け出せず

小池百合子東京都知事による国政新党「希望の党」の結成から25日で丸1年を迎える。「小池新党」への合流の是非をめぐる野党第一党だった旧民進党は分裂へと追い込ま



れ、中小規模の野党が乱立する混沌とした状況が今も続く。「1強多弱」の状況から抜け出す展望は開けないはまだ。

平成29年	9月	25日	小池百合子東京都知事が新党「希望の党」結成
	28日	衆院解散、民進党が希望の党への「合流」方針了承	
10月	2日	民進党の枝野幸男代表代行が新党「立憲民主党」の結成表明	
	5日	連合が特定政党を支持せず、民進党出身者らを個別支援すると決定	
	22日	衆院選投票開票、立憲民主党が55議席で野党第一党に	
	26日	衆院選に無所属で当選した岡田克也元副総理らが衆院会派「無所属の会」結成	
11月	14日	小池氏が希望の党代表を辞任、玉木雄一郎共同代表が代表継任	
12月	15日	民進、希望両幹事長が衆参両院での統一合流結成の会合出席、議に賛同	
1月	29日	民進党の大塚幹平代表が新党結成の意向表明	
2月	7日	希望の党解散、民進党が改称し「国民民主党」発足、共同代表に大塚、玉木両氏	
	8日	希望の党創設メンバーの松沢成文参院議員らが同名の新党「希望の党」を結成	
3月	4日	国民民主党初の代表選で新代表に玉木氏	

立憲民主党の枝野幸男代表は23日放送のBS朝日番組で、来年夏の参院選改選1人区での野党候補一本化に重ねて意欲を示した。

「1人区は一本化を徹底的に追求する。一番汗をかかなければならないのは（野党第一党である）私たちだと思っている」

最大野党の旧民進党の分裂により、野党は選挙や国会論戦で従来以上の「汗」を流す必要に迫られるようになった。全ては旧民進党が昨年の衆院選前、「小池新党」に全候補者の公認を申請するという奇策をとったことに起因する。

衆院選で235人の候補を立てた旧希望の党は50議席にとどまり、馬淵澄夫元国土交通相ら多くの旧民進党系ベテランが落選した。一方、枝野氏が結成した立憲民主党は野党第一党へと躍進し、衆院選後も徐々に所属議員を増やすが、平成28年3月の旧民進党結党時に比べると半数に満たない。堅調だった支持率も最近では頭打ちで、自民党に対する野党の「1強多弱」の状況は確実に加速した。

多くの旧民進党出身者は現在、旧希望の党への合流は「失敗だった」（国民民主党の玉木雄一郎代表）との認識を共有している。昨年11月に小池氏が党代表を辞任した後、「民進党再結集」を模索する動きが本格化し、今年5月には旧民進、旧希望両党が合流して国民民主党が発足した。

しかし、立憲民主党は依然、他党との合流に否定的だ。岡田克也元副総理や野田佳彦前首相ら旧民進党出身の重鎮は無所属となり、立憲民主党を含む旧民進党系勢力の再結集を目指しているが、実現の兆しは見えない。旧希望の党の党名を引き継いで松沢成文参院議員らが結成した新党も、衆参合わせ5人とどまる。

10年に誕生した旧民主党は、旧自由党との「民由合併」などを経て徐々に勢力を伸ばし、10年以上かけて政権交代を成し遂げた。対照的に、一時の「小池人気」を頼りに衆院選に臨んだ旧民進党の判断は、一朝一夕に築くことができない礎を雲散霧消させた。

岡田氏は国民民主党不参加を表明した4月の記者会見で、

5年の自民党離党後の自身の歩みを振り返り、こう唇をかんだ。

「政権交代可能な政治を目指してきた。『大きな固まりを作ろう』という思いで20年間やってきたことの結果がこれかと考えると、無念でならない…」

「日本のリセット」を掲げて発足した旧希望の党がもたらしたものは、非自民勢力が約20年間かけて積み重ねてきた歩みの「リセット」だったといえるかもしれない。（松本学）

## 対北朝鮮で日米韓連携確認へ＝安倍首相、国連総会へ出発



米国へ出発する安倍晋三首相（中央左）と昭恵夫人＝23日午後、羽田空港

安倍晋三首相は23日午後、米ニューヨークでの国連総会に出席するため、政府専用機で羽田空港を出発した。25日に韓国の文在寅大統領、26日にトランプ米大統領とそれぞれ会談し、北朝鮮の拉致・核・ミサイル問題の解決に向けた日米韓の連携を確認。トランプ氏とは日米間の火種になりつつある通商問題も協議する。

首相は出発前、羽田空港で記者団に「トランプ氏、文氏をはじめ、各国指導者と会談を行い、北朝鮮をめぐる問題の解決の重要性を訴える。日米韓の連携を深めていく」と強調。通商問題に関しては「（24日の）FFR（日米貿易協議）の結果に基づいて建設的な議論を行いたい」と語った。



米国への出発を前に、報道陣の取材に応じる安倍晋三首相＝23日午後、羽田空港

首相の国連総会出席は6年連続。自民党総裁選で連続3選を決め、新たに3年の任期を得た首相は国際社会でも指導力を発揮したい考えだ。（2018/09/23-17:40）

首相訪米、国連総会出席へ 米韓大統領らと会談予定  
共同通信 2018/9/23 18:07



国連総会に出席するため、米ニューヨークに向け羽田空港を出発する安倍首相夫妻＝23日午後

安倍晋三首相は23日、国連総会に出席するため米ニューヨークに向け、政府専用機で羽田空港を出発した。現地時間26日（日本時間27日）にトランプ米大統領と会談する。焦点の貿易問題を巡り、首相は24日の閣僚級による交渉結果を踏まえ「トランプ氏と建設的な議論を行いたい」と羽田空港で記者団に述べた。25日には国連総会で一般討論演説を行う。28日に帰国する。

トランプ氏とは23日に夕食を共にする。南北首脳会談を踏まえ、非核化を目指す意思を改めて確認する。首相は「北朝鮮の問題について認識を共有したい」と記者団に語った。25日には韓国の文在寅大統領と会談する。

#### 韓国大統領が米国へ出発 南北会談結果を説明へ 共同通信 2018/9/23 15:39

【ソウル共同】韓国の文在寅大統領は23日、ニューヨークで国連総会に出席し、トランプ米大統領との首脳会談に臨むため米国へ出発した。会談では北朝鮮・平壤での金正恩朝鮮労働党委員長との会談結果を説明し、北朝鮮の非核化や米朝首脳再会談の早期実現について話し合う見通し。

文氏は、金氏との会談内容のうち公表されていない部分もトランプ氏に伝えるとしている。

韓国は南北間の交流事業を制裁の例外とするよう米国に求めてきたが、米側が難色を示してきた。文氏は非核化の進展に応じた段階的な制裁緩和の必要性を呼び掛けるとみられる。

#### 文大統領訪米 正恩氏メッセージ携え“米朝橋渡し” ANN9/23(日) 17:37 配信

韓国の文在寅（ムン・ジェイン）大統領は23日午後、ニューヨークに出発しました。トランプ大統領に金正恩委員長の「メッセージ」を伝えるとみられます。

文大統領はニューヨークで24日午後、トランプ大統領と会談します。先週、行われた金委員長との会談の結果を説明し、金委員長が望む2回目の米朝首脳会談の早期開催を促すとみられます。ニューヨークで文大統領は安倍総理大臣とも会談し、南北首脳会談を受けてやり取りをする見通しです。一方、金委員長が南北首脳会談で見せた珍しい様子を韓国政府が公開しました。手元をよく見ると、親指

と人さし指で「ハートマーク」を作っています。これは韓国で流行しているポーズで、作り方が分からない金委員長を李雪主（リ・ソルジュ）夫人が手助けする場面があったということです。

#### 日韓首脳、25日に会談＝安倍首相、南北会談の説明求める



北朝鮮による拉致被害者の早期帰国を訴える集会であいさつする安倍晋三首相＝23日午後、東京都千代田区

安倍晋三首相は23日、東京都内で開かれた日本人拉致問題に関する集会であいさつし、同日からの米国訪問中に韓国の文在寅大統領と会談することを明らかにした。会談は25日に行い、拉致問題解決に向けた決意を伝え、韓国の協力を改めて求める見通しだ。

首相は集会で、先の南北首脳会談に触れ、「両首脳の努力に敬意を表したい」と評価。その上で「（文氏から）南北会談について話を聞きながら、日本の確固たる考え方を申し上げたい」と語った。

首相は23、26両日に予定しているトランプ米大統領との会談にも触れ、「日米の考え方、認識、対応を一致させたい」と強調した。（時事通信 2018/09/23-16:38）

#### 拉致被害者 早期解決訴え「国民大集会」 家族会など 毎日新聞 2018年9月23日 20時01分（最終更新 9月23日 20時01分）

北朝鮮による拉致被害者の家族会などは23日、東京都千代田区で拉致問題の早期解決を訴える「国民大集会」を開いた。史上初の米朝首脳会談から3カ月。問題解決への期待は高まったものの、その道筋はいまだ見えていない。家族は被害者への思いを語り「今が正念場」と訴えた。

40年前の8月に新潟県佐渡市で母ミヨシさん（行方不明時46歳）とともに拉致された曾我ひとみさん（59）は、拉致される1年半前に母から贈られた腕時計をはめて集会に出席した。曾我さんは「北朝鮮に拉致されている時、何度か時計が止まることがあった。そのたびに母はどうしているかと思い暮らしてきた」と振り返り、「16年前に帰国し、止まっていた時計も今日まで動いている。あきらめずに、母と被害者全員の帰国のため頑張りたい」と話した。

拉致被害者の松木薫さん（同26歳）＝熊本市出身＝の姉、斉藤文代さん（73）は2014年に92歳で亡くなった母スナヨさんとの思い出を振り返った。

ある時、薫さんの居場所を聞かれ「海の向こうにいるよ。

心配しなくていいよ」と答えると、数日後、母の姿が見えなくなった。発見された時、母は海岸の消波ブロックの上に座り、海を見つめていたという。「(認知症で)徘徊(はいかい)が始まっていた母は会いたい、会いたいという思いでいたのだろう。どんなことがあっても母の小さな墓前に(弟を)連れていきたい」と訴えた。

集会で安倍晋三首相は日朝首脳会談について「最後は私自身が金正恩委員長と直接向き合わなければならない。そして、これを行う以上は拉致問題の解決に資するものにしななければいけない」と述べた。【堀智行】

産経新聞 2018.9.23 21:02 更新

安倍首相、拉致集会で「日米対応一致させたい」 訪米へ出発、トランプ氏と2回会談へ



「全拉致被害者の即時一括帰国を！国民大集会」であいさつする安倍晋三首相＝23日午後、東京都千代田区（松本健吾撮影）

安倍晋三首相は23日、国連総会出席のため米ニューヨークに向けて政府専用機で羽田空港を出発した。首相はこれに先立ち、都内で開かれた北朝鮮による拉致被害者の即時一括帰国を求める「国民大集会」に出席し、訪米中にトランプ大統領と2回、会談すると明らかにした。拉致問題などについて「日米の考え方、認識、対応を一致させたい」と述べた上で「拉致問題は最優先の課題で、安倍政権で解決する」と重ねて決意を示した。

首相は現地時間の23日夜にトランプ氏と食事をしながら2人だけで会談し、別の日にも会談する予定だと述べた。韓国の文在寅（ムン・ジェイン）大統領とも会談すると明らかにし、集会で「(今月開かれた)南北首脳会談の話聞きながら、日本の確固たる考え方について申し上げたい」と語った。

集会では、拉致問題について「最後は私自身が金正恩（キム・ジョンウン）朝鮮労働党委員長と直接向き合わなければならない。（日朝会談を）行う以上は拉致問題の解決に資するものにしななければならない」と述べた。集会前には拉致被害者の家族らと面会し、「皆さま方の積年の思いを胸に刻みながら、被害者全員の帰国に向けて今後も全力を尽くしていく決意だ」と語った。

一方、日米間の貿易問題に関し、首相は羽田空港で記者団に対し、日米両政府が24日に開く閣僚級の新しい通商協議（FFR）の結果に基づき「トランプ大統領と建設的

な議論を行いたい」と述べた。首相は日米の経済交渉について「(トランプ氏とは)公正なルールに基づく自由で開かれたインド太平洋地域の経済発展を実現していくという大きな目標は共有している」と強調した。

首相は25日に国連総会で一般討論演説を行い、28日に帰国する。

産経新聞 2018.9.23 20:11 更新

【北朝鮮拉致】「具体的成果」切望も「前のめり」には警戒強く 家族会



「全拉致被害者の即時一括帰

国を！国民大集会」で（前列左から）飯塚繁雄さん、曾我ひとみさん、横田早紀江さんらと握手する安倍晋三首相＝23日午後、東京都千代田区（松本健吾撮影）

拉致被害者家族会は23日の国民大集会で、北朝鮮に対し、全被害者の即時一括帰国という「譲れない条件」を重ねて示した。一方、政府には拉致の全面解決とともに、交渉に前のめりにならないよう慎重な対応を求める声が相次いだ。

「期待したが、動きは中断している雰囲気もある」

家族会代表で田口八重子さん（63）＝拉致当時（22）＝の兄、飯塚繁雄さん（80）は、6月の米朝首脳会談でトランプ大統領に拉致解決を提起された金正恩（キム・ジョンウン）朝鮮労働党委員長が、日本との対話に応じる意向を示してからの情勢に複雑な思いを漏らした。

現状を「解決の最後の好機」ととらえる家族らは、日朝間の実質的協議を切望する。1月に発表した運動方針では、昨年に続き「今年中」の全被害者救出を要望した。ただ、飯塚さんはこの日、「何としても今年中とか来月中旬に、という話は私から言えない。焦らず着実に、被害者の確実な帰国に焦点を絞った取り組みを進めてほしい」と訴えた。日本側の「前のめり」姿勢への警戒といえる。

その背景には、北朝鮮が拉致解決をちらつかせながら被害者解放に至らなかった過去の苦い経験とともに、政界や学界の一部にある「経済支援を先行させて国交正常化を急ぐべき」とする認識への懸念がある。

北朝鮮は国営メディアなどで「拉致は解決済み」とし、経済協力などの「植民地支配の過去の清算」に日本が応じることが、対話の条件だと主張し続ける。

横田めぐみさん（53）＝同（13）＝の弟、拓也さん（50）は「国家犯罪を行い、テロ支援国家である北朝鮮の主張をうのみにはできない」とした上で、「私たちは被害

者の即時一括帰国しか求めない。北朝鮮が示す合同調査委員会や『報告書』に同調する動きは、救出への妨害行為だと憤る。

安倍晋三首相は集会のあいさつで「安倍政権で拉致問題を解決する」と、改めて決意を述べた。ただ、高齢化した家族に残された時間は少ない。めぐみさんの母、早紀江さん（82）は「今が正念場。力強い交渉をしていただけると信じている」と語った。家族が求めるのは具体的成果だけだ。

## ポンペオ氏、近く訪朝へ 2回目の首脳会談へ最終調整

朝日新聞デジタルワシントン＝園田耕司 2018年9月22日13時25分

ポンペオ米国務長官は21日の米FOXニュースのインタビューで、自身が近く訪朝し、トランプ米大統領と北朝鮮の金正恩（キムジョンウン）朝鮮労働党委員長の2回目の首脳会談に向けた最終調整をする意向を明らかにした。両首脳の再会談が「近い将来行われることを強く期待している」とも述べた。

ポンペオ氏は、再会談前に「条件設定」や、両首脳が実質的な進展を図れるかどうかなど確認作業が残っていると指摘し、「そう遠くないうちに私が平壤を訪問したい」と語った。

ポンペオ氏は8月下旬に4回目となる訪朝を予定していたが、トランプ氏が北朝鮮の非核化に「重要な進展が見られない」と不満を表明し、訪朝中止を指示した。その後、トランプ氏が正恩氏から再会談を求める親書を受け取ると、米朝両政府は調整を開始。ポンペオ氏は19日、平壤での南北首脳会談の結果を歓迎する声明を発表し、「米国は北朝鮮との関係を転換するための交渉を即座に進める用意がある」と表明した。（ワシントン＝園田耕司）

## 石破氏を閣僚起用しない方針...首相と「隔たり」

読売新聞 2018年09月23日08時39分

安倍首相は10月に予定する内閣改造・自民党役員人事で、石破茂・元幹事長を閣僚に起用しない方針を固めた。総裁選で憲法改正や経済政策を巡る隔たりが浮きぼりになり、「閣内不一致」と指摘される事態を避ける狙いがある。

石破氏は総裁選で党员票の45%を得るなど健闘し、処遇が注目されていた。首相は石破氏の閣僚起用を見送る一方、石破氏を支持した議員の処遇については慎重に検討を進めている。

党役員人事では、岸田政調会長を続投させる。続投方針が決まっている二階幹事長と合わせ、派閥のりょうしゅう

領袖である両氏を要職に残し、安定した党運営を進めたい考えだ。

内閣改造では、麻生副総理兼財務相、菅官房長官に加え、

河野外相、世耕経済産業相、茂木経済再生相も留任させる方向だ。首相は23日に国連総会出席のため米国に出発し、28日に帰国する。10月1日に党役員人事、2日に内閣改造に踏み切る見通しとなっている。

## 首相検討 甘利氏、党要職起用へ 2日に閣僚認証式

毎日新聞 2018年9月23日06時30分(最終更新 9月23日07時24分)



甘利明元経済再生担当相＝川田雅浩撮影

安倍晋三首相は自民党総裁3選を受けた内閣改造・党役員人事で、甘利明元経済再生担当相（69）を党の要職で起用する検討に入った。甘利氏は総裁選で首相選対の事務総長を務めた。また、一連の人事を10月1日から2日にかけて行う調整も始めた。1日に党役員人事、2日に皇居での閣僚認証式を行う方向だ。

首相は23日から国連総会出席のため訪米し、28日に帰国する。30日に政権が重要視する沖縄県知事選が投票されるほか、公明党が党大会で新執行部を発足させる。これを受けて10月1日に自公党首会談を行った後、内閣改造の手続きに入る。

甘利氏は、2012年12月の第2次安倍内閣発足時から経済再生担当相として経済政策「アベノミクス」の司令塔役を担った。首相や麻生太郎副総理兼財務相（78）からの信頼が厚く、菅義偉官房長官（69）とともに内閣の「骨格」を担ったが、16年1月に秘書の現金授受疑惑で辞任した。昨秋の衆院選を経て地元有権者の信任を得た形になったことや、総裁選での尽力を評価し、総務会長など党の要職として起用する方向だ。

首相は既に麻生氏、菅氏、二階俊博幹事長（79）を留任させる方針を固め、総裁選への立候補を見送り首相を支援した岸田文雄政調会長（61）も続投させる方針だ。また茂木敏充経済再生担当相（62）、加藤勝信厚生労働相（62）、河野太郎外相（55）、世耕弘成経済産業相（55）の留任も検討中だ。

一方、総裁選で首相の憲法改正案やアベノミクスを厳しく批判した石破茂元幹事長（61）は、要職への起用を見送る。【小田中大、田中裕之】

## 差別解消を目指す宣言採択 福岡で世界ダリット会議

共同通信 2018/9/23 19:49

差別撤廃を訴える「世界ダリット会議」が23日まで福岡市で開かれ、差別解消を目指す決議宣言を同日採択し、

閉幕した。宣言では「人権保護に関する知的委員会をつくり、差別の根本的理由を確認することが課題解決につながる」と訴えた。



福岡市で開かれた「世界ダリット会議」=23日午後

宣言では、インドで長年存在してきた「カースト制度」の外に置かれた最下層のダリットを含めた差別の問題を、国連の「持続可能な開発目標」といった政策文書に盛り込むことが重要だと指摘。「ソーシャルメディアを活用し、人権侵害の問題を公に発信する」ことなども盛り込まれた。

2日間の会期中、国内外から計約250人が参加した。ダリット会議は4回目。

## 核兵器禁止条約 河野外相に参加要請 ICAN事務局長

毎日新聞 2018年9月23日 07時36分(最終更新 9月23日 08時36分)

ノーベル平和賞を昨年受賞した非政府組織(NGO)核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)のベアトリス・フィン事務局長は22日、カナダ東部モントリオールで河野太郎外相と面会し、日本も核兵器禁止条約に参加するよう働き掛けた。面会后、共同通信の取材に明らかにした。

外務省関係者によると、河野氏は、同条約に参加しないとの日本政府の従来の立場を伝えた。

フィン氏は取材に「(米国の「核の傘」を優先する)日本の立場は分かっているが、条約参加こそが自国の安全保障上の利益になるといずれ理解してくれると確信している」と述べ、将来的な参加に期待を示した。(共同)

## ICAN 核兵器なくすために…小学生ら話し合う

毎日新聞 2018年9月23日 18時47分(最終更新 9月23日 18時47分)

核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)の川崎哲さん(49)が23日、東京都千代田区の毎日ホールで子どもたち向けに講演し、小学生ら約40人が核兵器をなくすために何ができるかを話し合った。毎日小学生新聞主催。

川崎さんはICANの活動のほか、核兵器が約1万4000発もあり、核実験による被害者が世界中にいることを説明した。その後、グループごとに核兵器をなくす方法を話し合うと、子どもたちからは「核を保有する国に核の恐ろしさを伝えるためにポスターを作る」「戦争や核兵器について家族と話して考える」などの意見が出された。

川崎さんは「いいアイデアがたくさんあり感動した。で

も、核を持つ方が安全だと考える人がいる。どうすれば考え方が変わるのか、とても難しい問題なので、これからもぜひ考えてほしい」と呼びかけた。千葉大教育学部付属小6年の水野リヒトさん(12)は「日本が核兵器禁止条約に入っていないと知ってびっくりした。核兵器をなくそうと、みんなに呼びかけたい」と話した。【竹内麻子】

## 「原爆ドームの価値否定」敗訴の原告団憤りの声 読売新聞 2018年09月23日 10時24分



「容認できる判決ではない」と訴える金子原告団長(右)(広島市中区で)



判決を旗だしする原告の大亀信行さん(広島市中区で)

平和のシンボル・原爆ドーム近くでカキ船を営業することの是非が問われた「カキ船訴訟」。原告の主張を退けた19日の広島地裁判決に、原告団は「全く容認できない」と憤りの声を上げた。

「市民がつくり上げた原爆ドームの価値が否定されて良いはずがない。容認できない」。判決後の報告集会で、原告団の金子哲夫団長は語気を強めた。

原爆ドームの近くで酒や料理が提供されることに対し、鎮魂の場としての意味を失わせると主張した原告団。しかし、判決では「原告が主観的に抱いているのは価値観や感情。客観的に判断するのは困難」と認められなかった。

カキ船の安全性についても、大規模な高潮などの自然災害が発生した場合、カキ船が元安川から流れ出て、周辺の住宅などに衝突する危険性があるとの原告の主張は、全面的に退けられた。

原告の一人で、カキ船の近くのマンションに住む男性(69)は「災害でカキ船が流されると危険だと感じている住民の思いを理解できないのか。裁判所にはもっと踏み込んだ判断をしてほしかった」と悔しさをにじませた。

元安川を管理する国土交通省中国地方整備局は「国の主

張が裁判所に理解された。今後も適正な河川行政の遂行に努めていく」とコメントを出した。(飯田拓、伏山隼平)

## 原爆マグロ 「築地解体後もプレート」 第五福竜丸元乗員

毎日新聞 2018年9月23日 09時30分(最終更新 9月23日 15時27分)



「原爆マグロ」が市場の一角に埋められたことを伝えるプレート＝東京都中央区の築地市場で2018年9月6日、渡部直樹撮影



築地市場に入荷された「第五福竜丸」のマグロ。東京都衛生局によって「手を触れるな 原爆被害品」の掲示がされた＝東京都中央区の築地市場で1954年3月16日、毎日新聞東京本社写真部員撮影



第五福竜丸元乗組員の大石又七さん＝森健太郎撮影



久保山愛吉さん

10月6日に閉場する東京都の築地市場(中央区)には、64年前に米国の水爆実験で被ばくした「第五福竜丸」が漁獲したマグロが埋められた。汚染された「原爆マグロ」が持ち込まれて日本の台所が大打撃を受けた歴史は、正門脇に掲げられたプレートに刻まれているが、市場解体後はその扱いが決まっていない。元乗組員らは22日、都内で集会を開き、「平和の道しるべに」と保存を訴えた。

64年前の事件、伝えたい

市場正門脇の白い壁には、マグロのイラストが入ったプレートがひっそりと掲げられている。「放射能汚染が判明した魚などは消費者の手に渡る前に市場内のこの一角に埋められ廃棄されました」

第五福竜丸の魚は1954年3月16日、トラックで築地市場に持ち込まれた。検査で複数のマグロやサメが放射性物質に汚染されていると分かり、市場内の一角に埋められた。量は2トンともされる。

「原爆マグロ」のあおりで、他の鮮魚の値段も暴落。都は放射線の検査を通過した魚に「合格印」を押し、卸や仲卸業者とともに宣伝カーやビラで安全性をアピールした。それでもパニックは収まらず、市場近くにある飲食店の売れ行きまで下がった。

都は96年、地下鉄大江戸線の建設工事に併せ、マグロが埋められたとみられる正門付近を発掘。だが、マグロの骨などは見つからなかった。元乗組員の大石又七さん(84)が第五福竜丸事件を伝える講演活動を始めたのはこのころだ。差別や偏見を恐れたが、核廃絶への願いから沈黙を破った。有志と全国の講演先で子供たちから1人10円を募り、99年にプレートをつくった。

本当は「マグロ塚」と名付けた石碑を市場内に置きたかった。だが、市場は当時、再整備問題に揺れており、都は都立夢の島公園(江東区)で保存・展示している第五福竜丸のそばに碑を仮置きし、プレートだけ市場に掲げるのを認めた。

10月11日に開場する豊洲市場(江東区)への移転に伴い築地市場は解体され、跡地は2020年東京五輪・パラリンピック用の駐車場になる。都は解体工事の仮囲いなどにプレートを設置する方針だが、五輪後の再開発計画は

未定でプレートの長期的な扱いは決まっていない。原爆マグロも所在不明のままだ。

第五福竜丸の乗組員で最初に亡くなった無線長・久保山愛吉さん（当時40歳）の命日前日の22日、大石さんたちはマグロ塚の近くで慰霊の集会を開いた。約50人を前に大石さんは語気を強めた。「人間はいずれ言葉を失うが、石は何年先でも残り、平和の道しるべになる」。市場を襲った記録の保存と記憶の継承を求めた。【森健太郎、市川明代】

### 【ことば】第五福竜丸事件

1954年3月1日未明、米国が太平洋のマーシャル諸島ビキニ環礁で実施した水爆実験により、約160キロ先で操業中だった静岡県焼津市のマグロ漁船「第五福竜丸」の乗組員23人が放射性物質を含んだ「死の灰」を浴びて被ばくした。米国が日本に200万ドルの見舞金を支払うことで政治決着したが、原水爆禁止運動が広がるきっかけとなった。

### 最年少町長3カ月 2児の母過疎地で奮闘「めげない」

毎日新聞 2018年9月23日 18時32分(最終更新 9月23日 19時13分)



自宅近くの田んぼの前で我が子と遊ぶ桑原町長＝新潟県津南町で2018年6月26日午後4時43分、南茂芽育撮影

東大院修了の2児の母の32歳 「新しい風を吹かせる」

日本屈指の豪雪地帯・新潟県津南町に全国最年少の女性首長、桑原悠（くわばら・はるか）町長（32）が誕生してから24日で3カ月を迎える。平均年齢54.8歳（2015年現在）、人口約1万人の過疎地の変革を託された東大院修了の2児の母。数々のしがらみの中で「新しい風を」と町政に取り組む姿を追った。

### 【南茂芽育／新潟支局】

#### 騒然とする町議会

町議会9月定例会初日の10日。「若者が戻ってこられるような町にしたい」「『もうかる農業』のため、役場に専門の人材を置きたい」。熱弁を振るう桑原氏に対し、ベテラン町議から「具体的に良いアイデアがあるのか」「そんな人が見つかるめどはあるのか」と矢継ぎ早に質問が飛んだ。桑原氏が隣の副町長と少し言葉を交わすと「聞いているのか。

真面目に答えて」と詰め寄る女性町議。桑原氏が「金切り声をあげないで、冷静に」と呼びかけると、議場はますます騒然となった。

議会終了後、桑原氏は「また言われた」と顔をしかめながらも「めげてる場合じゃない。それだけ重い責任を負っているから」と闘志をあらわにした。

「誰にもできないことをやってみたい」

「とにかく強い子だと思われたい」――。津南町で兼業農家の長女として育った桑原氏は保育園時代、近所の年下の子供たちを一行に並ばせ、きちんと並べると「よくできました」とお菓子をあげて従っていたという。

中学生の時に祖父の家で元国連難民高等弁務官の緒方貞子氏の本を読み「難民の支援がしたい。国連で働きたい」と憧れた。早稲田大社会科学部3年生の時に米オレゴン大に留学。オレゴン州で見た「東京一極集中」の日本とは違う「活気ある田舎」に驚いた。果樹農業が盛んで、繁盛する小さな店も多かった。「こんな豊かな田舎もあるんだ」

思い描いていた「都会でのエリートコース」への憧れは消え「生まれ育った郷土で働く『現場主義』もいいかもしれない」と思うようになった。

もっと地方自治を学ぼうと東京大公共政策大学院に進学後の2011年3月、転機が訪れた。東日本大震災の翌日、津南町が長野県北部地震で被災したのだ。

死者は出なかったが、1000軒以上の家屋が被害を受けた。「誰にもできないことをやってみたい」と思っていた矢先のことであり「今なら地方自治の知識を復興に役立てられる」と、思い切って町議選に立候補した。町史上最年少の町議候補として話題を集め、25歳でトップ当選した。

「8割は言いたいことを我慢した」町議時代

しかし、すぐに厳しい現実と直面した。

町議になった直後の11年末、議会の審議をネット中継する構想が持ち上がった。先輩議員たちは「1年かけて話し合う」と、のんびり構えていた。「今はネットの時代。それじゃ遅い」と異論を唱えた結果、ネット中継は3カ月で実現した。しかし、他の議員たちから「皆の前で先輩議員を批判したりするのは生意気だ」と煙たがられるようになった。

その後、町で養豚業を営む夫と知り合って結婚。15年の第1子出産に伴い、議員の産休制度の創設を提案した。先輩議員たちには「若者が町議になった時点でこうなるとは思っていた」と受け入れられたものの、議会内の冷たい視線を意識して、結局産休は約2カ月しか取れなかった。「8割は言いたいことを我慢し、自分の良さが殺された日々だった」と桑原氏は振り返る。

「もう耐えられない」との思いが募っていた今年2月、上村憲司前町長が引退の意向を表明した。「14人の町議のうち1人じゃなく、町長ならもっと町を変えられるので

は」。そう考えて翌月、「まだ子供も小さいのに」と反対する家族を押し切り、町長選への立候補を表明した。勝算のないまま町長選へ

過去2回の町議選で連続トップ当選を果たしたとはいえ、それは唯一の40代以下の候補者として若い世代の票の受け皿になったからだった。1人しか選ばれない町長になるためには、より幅広い世代からの支持が欠かせない。

自身のホームページには増田寛也元総務相や、田中角栄元首相の秘書だった浅賀昭氏など、著名人の応援コメントを並べた。増田氏は東大院時代の恩師、浅賀氏は町議時代の知り合いだ。「『こんな人たちが応援しているなら投票しよう』と思ってくれたら」と、自ら支援を依頼して回った成果だった。

とはいえ「実際は勝算も何もなかった」と桑原氏の父雅之さん(55)は振り返る。

自民党系の上村前町長の後援会は後継候補の擁立を模索していた。共産党の支援を受ける元町職員の半戸哲郎氏や民間出身の新人男性もすでに立候補を表明していた。そこに割り込むのは容易ではない。「悠がそこまで言うなら……」と、半ば「開き直り」(雅之さん)で親族やその友人から成る選挙スタッフは動き始めた。

町の課題を前に頓挫した前町長の後継候補選び

流れを変えたのは6月17日の告示直前、自民党津南支部副支部長で、町の有力な建設会社「高橋工務所」の社長、高橋政徳氏の名前入りで町内の関係者に出回った1枚の文書だった。そこにはこう書かれていた。

「候補を分析した結果、桑原悠候補者を支持する事に決定いたしました」

実は上村前町長後援会や自民党による独自候補選びは序盤からつまづいていた。

上村前町長は後任に小野塚均副町長を望んだが、小野塚氏は「町長がそんなつもりだったとは知らなかった」と固辞。慌てた後援会は自民系町議らに打診したが「町には課題が多すぎる」「とても自分では町政を担えない」と断られた。

「桑原氏のほうがまし」

実際、課題は山積している。

町の今年度一般会計予算は前年度比6.3%減の約65億円。人口減で経営が悪化した町立病院は赤字の補填(ほてん)が必要で、財政は火の車だ。14年度からは町の「貯金」である財政調整基金を取り崩している。人口減は農家の後継者不足、商店街の空き店舗問題にも直結している。

1955年、合併で町が誕生した時に2万1909人いた人口は2015年には1万29人に半減した。総務省から「過疎地域」に指定され、有識者で構成する「日本創成会議」には「消滅可能性」のある自治体の一つにカウントされた。

町を熟知するベテラン政治家ほど、町長が背負う責任の

重さを理解していた。

最終的に前町長後援会や自民党津南支部が出した結論は「共産党が町政を担うよりは桑原氏の方がまだまし」(高橋氏)だった。

192票差で薄氷の勝利

「自民党や上村町長が悠さんを応援するんだって?」。知人からそう問われ、高橋氏の文書の存在を知った桑原氏後援会の風巻忠義会長(74)は慌てた。「一党一派に属さない」をモットーに掲げていたからだ。しかし、保守王国・津南の既存勢力を「敵に回すのもまたリスク」と風巻氏は熟慮の末、上村氏の支持者による応援を黙認することにした。

迎えた6月24日の投開票。桑原氏は2614票を得て当選した。しかし、2422票を集めた半戸氏に192票差に迫られる薄氷の勝利だった。

桑原氏に投票したのは「県外へ出た子供の帰郷を諦めている親が多い町。悠さんなら、何か変えてくれるかもしれない」(40代女性)といった町議時代からの若い支持層に加え、「上村さんが言うなら投票するか」(80代女性)という前町長を支持していた年配の有権者たちだった。

「新しい風」に戸惑う町民も

桑原氏は町長選で「参加できるまちづくり」を掲げたが、前途は多難だ。

前町長後援会や自民党支部の支援を受けたことについて桑原氏は「どの組織とも等距離を保つのは変わらない。彼らとの関係も津南のためになるのであれば使う」と話す。そうした姿勢が年配の町議たちには「人に頭を下げない」「新人らしくない」と映る。町議会での厳しい批判の根底には、積み重なってきた不満がある。

町職員からは「まだ様子見段階」と冷めた声も聞こえる。

「新しい風を吹かせる」と意気込む桑原氏は、町長室に子供が喜ぶおもちゃを常備し、ドアを開けっ放しにした。町民のアポなし訪問を歓迎する「訪れやすい町長室」を実現したのだ。

「良い試みだと思う。子供を遊ばせる場所が町内に少ないのが気がかりだから、行ってみようかな」。ある30代女性は、保育園脇の公園で子供を遊ばせながらそう話した。

ただ、町民の多くは奥ゆかしい雪国の人らしく、目立つことを好まない。70代の男性は「直接相談しろと言われても、担当課に言わずに町長に伝えれば、後から担当課に愚痴を言われる」と困り顔だ。別の30代女性も「言いたいことはあっても、面識のない町長には会いに行きづらい」と率直な感想を口にした。

「4年限りと思って、やりたいことは全部やる」

「出向く先々で町民から『町のこと、どうせよく分からないんでしょけど』と言われる」と桑原氏は言う。だが、その言葉はこう続く。「『それでもよくやってるわ』と、いつか言わせる自信があるんです」



故郷の町で踏ん張る理由は何か。記者がそう問うと桑原氏は、自宅近くの田んぼ道を笑いながら走り回る幼い我が子2人をじっと見つめた。「この町はこのままじゃだめ。だからこそ、子供にこのままの町を引き継ぎたくない」

町の課題や解決策を考える「津南未来会議」（仮称）を創設し、近くメンバーを公募する予定だ。「一緒に頑張れる仲間を見つけたい」と思ったからだという。「一人一人がパブリックマインド（公共の精神）を持ち、町の未来を考えてほしい。町長の自分も、その一人なんです」

そして、吹っ切れたような笑顔で言った。「もしかしたら『4年だけいた不思議な町長』になってしまうかもしれない。4年限りだと思って、やりたいことは全部やります」